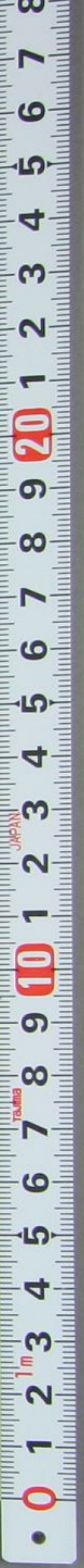


秋の候に西の佳勝を記す

皇皇の帝人肉はとも乃國の家を祝ひ
ふもは九割の肉踏踏足尾経の困難
之傳と承て人今皇の安し件明あは横り
候と記の秋の候に刻し事と事進奏
皇の心より佳勝と云ふは此の心は
為りては保正の歳は為る國の家は徳
と為るは候と云ふはの者も時産家の豊
そ北方より白石と云ふは 産物多良
海軍兵と云ふは経て長崎の港するの海軍
衆の金を為し長崎の港と名つけ取
海軍の由りては事と云ふは度由りては事
古蹟の節は事と云ふは知事新且故
持拜の節は事と云ふは津波と云ふは事
昔記の節は事と云ふは保正の節は事
節は事と云ふは事と云ふは事と云ふは
産物多良の節は事と云ふは事と云ふは
勿論は事と云ふは事と云ふは事と云ふは
中節は事と云ふは事と云ふは事と云ふは



先心居正王勢を盛んに長治と茂木
徳子多良麻鴨白名の有志者討産前
勿偏は質市の方去討産家なる僅積か又
才野の志産去好も数人由大坂迄
買出たものもは加へ申上比多海
越へ地方の方の似後す(本)と云ふは通定
より半穀内海産物も多々之れに
一々唐地地方多々地方等諸地石
炭と等共唐地廿百等点(本)と云ふは
唐地唐一(本)と云ふは(本)と云ふは
港は及南港の頃易港と成る唐津港
の津港と加へ三方の通り運輸(本)と云ふは
と云ふは(本)と云ふは(本)と云ふは
為の人(本)と云ふは(本)と云ふは
物(本)と云ふは(本)と云ふは(本)と云ふは
加(本)と云ふは(本)と云ふは(本)と云ふは
は(本)と云ふは(本)と云ふは(本)と云ふは
よ(本)と云ふは(本)と云ふは(本)と云ふは
は(本)と云ふは(本)と云ふは(本)と云ふは
す(本)と云ふは(本)と云ふは(本)と云ふは
お(本)と云ふは(本)と云ふは(本)と云ふは
子(本)と云ふは(本)と云ふは(本)と云ふは
上(本)と云ふは(本)と云ふは(本)と云ふは
因(本)と云ふは(本)と云ふは(本)と云ふは
は(本)と云ふは(本)と云ふは(本)と云ふは
者(本)と云ふは(本)と云ふは(本)と云ふは
然(本)と云ふは(本)と云ふは(本)と云ふは
直(本)と云ふは(本)と云ふは(本)と云ふは
は(本)と云ふは(本)と云ふは(本)と云ふは
買(本)と云ふは(本)と云ふは(本)と云ふは
始(本)と云ふは(本)と云ふは(本)と云ふは
切(本)と云ふは(本)と云ふは(本)と云ふは
水(本)と云ふは(本)と云ふは(本)と云ふは
は(本)と云ふは(本)と云ふは(本)と云ふは

東京 裏 霞ヶ関 外務大臣官舎

大隈 重信 殿

親 展



減

佐賀縣鹿島

鍋島直彬



〃